

平成15年12月3日

京都府立大学

農学部附属農場情報



教職員に手伝ってもらい鶏を固定します

鶏の解体実習に取り組む

12月3日(水)の農場実習は、誰しものがとらねばならない鶏の解体を行いました。ブロイラーが普及する以前の昭和30年代頃は、お祝い事などに鶏を買ってきて、家庭で解体調理しすき焼き等で食べていたものです。学生たちも、感情を抑えた真剣なまなざしで取り組んでいました。